

伝えたい戦争 体験を語る



NPT再検討会議を前にニューヨーク市街で行われた平和行進。7000人超が参加し、国連本部までの3*を歩んだ



東條明子さん

4月末から米国ニューヨークの国連本部で開かれた核拡散防止条約(NPT)再検討会議に合わせ、「日本被爆者団体協議会代表団」の一員として、東京都練馬区の僧侶・東條明子さん(80)が現地で被爆体験を語った。昭和20年、当時10歳の東條さんは3月に東京大空襲、8月には疎開先の広島で原爆に遭った。終戦70年の節目。平和への願いと、戦争を知らない世代へ伝えたい思いを聞いた。

提言

子どもたち、若者たちに伝えたい思いはただ1つ。戦争は絶対にしてはいけません。このことを忘れないでください。

私は今回、被爆者の一人として米国で核兵器廃絶のための証言活動に参加しましたが、期間中は所属団体の要請もあり、法衣と袈裟をつけて、仏教徒として平和の大切さ、戦争の愚かさや核兵器の恐ろしさを伝え、お釈迦さまの真理の言葉は平和のキーワードであることを伝えてきました。

多くの命が真実を知らされず翻弄(ほんろう)されていくのが戦争です。この世に命をいただいたかぎりには精いっぱい生きたいというのが、すべての命が持っている願いです。そして仏法で

戦争を知らない 若者たちへ

は、いただいた命を大切に生かさせていただきましょうと教えています。

私は10歳で東京大空襲と広島原爆を体験し、70年間も後遺症に悩まされてきましたが、心の苦しみを救ったのは仏さまの教えでした。これまでも証言活動を通してお釈迦さまの言葉を伝え続けてきました。平和を願う、生きとし生けるものの根本の願いは、2500年前にお釈迦さまが明らかにしてくださっているのです。

若い皆さん、家族や友達との小さな争いや周りの争いに見て見ぬふりをするのも、国同士になると戦争へとつながるのです。身近なところから私たち一人一人ができることを、仏さまの教えを通して考えましょう。

戦争は絶対してはいけません。

子どもたち、若者たちに伝えたい思いはただ1つ。戦争は絶対してはいけません。このことを忘れないでください。



日本人家族のコミュニティで体験を語る東條さん

平和な世界に軍隊と武器は、必要がなくなりません。私たちは今、多くのいのちに生かされて生きています。戦争の犠牲になった被爆者としてすべての戦没者のいのちに報いるためにも、核兵器と戦争の無い世界にしなければ、地球は永遠に平和にならないと思います。仏陀の真理の言葉を全世界で実現させましょう。

8月6日の朝、祇園国民学校は登校日で、晴れ渡った夏空の下、近所の子もたちと集団登校しました。木造2階建の校舎の2階で教室の掃除が終わり、ガラス窓を拭いていた子が「あっ、B29!」と叫びました。かけ寄って空を見上げると、青い空に銀色の翼が光り、スーと何かが糸を引いて落ちたようでした。次の瞬間、太陽が爆発したかのような白い光線が教室中を走り、とっさに床に倒れ伏しました。東京で何度か空襲をくぐり抜けてきたけれど、こんな閃光は見たことがない。死を覚悟した次の瞬間、体験したことがないような音、爆風、窓ガラスが砕けて空中を走り、天井も壁も床板もすべてはがれ、飛び散り、私たちの上に瓦礫の山となって覆いかぶさってきました。

私には子どもたちを見守りながら、立ち上るきのこと雲から目が離せなかったのです。きこの雲は夜になるとまっ暗な闇の中に、真っ赤になって刻々と変化しつつ燃え続けました。朝になると灰色になり、夜は真紅に、3日3晩燃え続

1945年3月10日の真夜中、眼が覚めると私は東京大空襲の真っただ中にいました。家中の窓や戸は開け放たれ、B29が鳥の大群のようにごう音を響かせて飛んでおり、雨あられのように焼夷弾を落とす絨緞爆撃をしておりました。東京中の空が真っ赤に染まり、一夜にして10万人が死亡しました。10歳の私を頭に7歳、3歳、1歳の4人の子どもを母はとでも守れないと、急ぎょ広島への疎開を決意しました。着いた所は広島城が目の前の知人の家。その後、転々とし、8月6日は中心部から約4キロ離れた祇園にいました。

昼近くになると市内から学徒動員や勤労奉仕に出ていた人々で、ひどい火傷やガラス片が背中につき刺さったまま避難してくる人が続き、大人たちは右往左往の大混乱だったと思います。

世界の困難を救うのは「仏陀の教え」

私の苦しみを救ったのは、仏教の教えでした。今、世界の困難を救うのは仏陀の教えの中にあります。「すべての者は暴力におびえ、すべての者は死をおそれ、己が身にひきくらべて、殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ」『法句経』「実にこの世においては、怨みに報いるに怨みを以てしたならば、ついに怨みの息むことがない。怨みをすててこそ息む。これは永遠の心理である」『法句経』

ニューヨークで語った証言(全文)